

第6学年 道徳科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時

学 級：第6学年〇組（〇名）

場 所：6年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

1 主題名 広く受け入れる心【内容項目 B 相互理解、寛容】

2 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」（「小学道徳 生きる力 6」日本文教出版）

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について（道徳的価値観）

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」では、【内容項目 B 相互理解、寛容】について、高学年は「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」と示されている。このことは、考えや意見の多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う、広がりや深まりのある人間関係を築くためにも欠かせないことである。しかし、私たちは、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さをもっている。自分自身が成長の途上にあり、至らなさをもっていることなどを考え、自分を謙虚に見ることが大切である。相手から学ぶ姿勢を常にもち、自分とは異なる意見や立場を受け止めることや、広い心で相手の過ちを許す心情や態度を育てたい。

（2）価値に関わる児童の実態について（児童観）

「相互理解、寛容」について、本学級の児童は、相手の立場に立って考えたり、相手の過ちなどに対して、謙虚な心で受け止めたりすることの大切さを学んできた。しかし、学校生活において、考えや意見が近い者同士が接近し、そうでない者を遠ざけたり、自分とは異なる意見を一方的に否定してしまったりする行動が見られることがある。そこで、自分と相手のものの見方、考え方の違いを意識したうえで、広い心で自分とは異なる意見や立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさや、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあることとして謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処できるよう導いていきたい。

（3）教材について（教材観）

本教材は、サーカス団のリーダーであるピエロが、考え方が違うブランコ乗りのサムを理解することで、サーカスを成功させるという内容である。本時の指導にあたっては、団員やサムの心情をそれぞれの立場に立って考えることを通して、ピエロの心情の変化を様々な視点で捉え考えることができるようにする。

まず、団員の心情を考えたとうえで、ピエロがサムを許したときの心情について考えることで、相手の過ちに対して自分自身を省みて謙虚に受け止める寛容さに気付くようにする。次に、サムがピエロの言動をどのように受け止めたかを考えさせ、よりよい人間関係を築いていくためには、お互いを理解し、広く受け入れる心が大切であることに気付くようにする。

4 児童の成長を促すための評価

（1）本主題における学びの姿

本時では、相手の考え方を謙虚に受け止め理解し合うことが、よりよい人間関係を築くことにつながることに気付けるようにし、自分と相手との見方や考え方に相違があっても、広い心で自分と異なる意見や立場

を尊重することを深める児童の姿を目指す。

(2) 学びの姿につながる指導

本時では、児童が団員、ピエロ、サムと視点を変えながら、それぞれの立場からのものの見方や考え方に触れたうえで、自分とは立場が違う相手の考えや思いを理解し、それを受け止め、互いの違いを生かしたよりよい関係を築いていこうとするピエロの気持ちを捉えることができるようにする。

中心発問においては、ピエロからサムを憎む気持ちが消えた理由について、様々な視点から捉えることができるよう、ペアで話し合ったり、ノートに記述したことを児童が互いに読み合ったりする。全体交流では、児童から表面的な理解にとどまっている考えや十分に言語化できていない思いが出ることも予想される。そこで、問い返しにより児童の考えを整理したり、より詳しい思いを引き出したりし、ねらいとする道徳的価値に対する考えを広げ深められるようにする。

終末では、自分と意見や考えが合わない人に対して、これまでどのように接してきたか、自分の経験を想起しながら、広く受け入れる心をもつために大切にしていきたいことについて考え、話し合う活動を設定する。そのことにより、相手から学ぶ姿勢をもち、自分と異なる意見や立場を受け止め、相手の過ちを許す心をもつことが、ピエロとサムのようによりよい人間関係を築いたり、自分や集団を高めたりすることに気付けるようにしたい。

(3) 児童の学びの姿についての評価

本時では、ペアや学級全体で話し合う活動における発言や記述などから、自分とは違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしたり、登場人物の心情を自分の経験や生活と重ねながら考えようとしたりして、自分の考えを深めている姿を見取り、座席表に記録する。それらの記録をもとに、個別に励ましたり、意図的に指名して学級全体に広げたりして、児童へのフィードバックを図る。

本時の学習の振り返りでは、相手の立場になって考える大切さに気付き、謙虚で広い心をもって自分と異なる意見や立場を尊重していこうとする考えを深められたかをワークシートの記述をもとに評価し、個別に言葉がけをしたり、意図的指名により学級全体に広げたりして、児童へのフィードバックを図る。

そして、事後には、児童の振り返りの記述に対して指導者が引き分けた線を記入することで、児童の成長の実感や意欲につながるフィードバックを行う。

5 本時のねらい

団員、ピエロ、サムと視点を変えながら多角的に考えることを通して、相手の考え方を謙虚に受け止め理解し合うことが、よりよい人間関係を築くことにつながることに気付き、自分と相手との見方や考え方に相違があっても、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする態度を育てる。

6 本時の展開

	学習活動・主な発問	予想される児童の思い	教師の支援と評価
導入	1. 教材「ブランコ乗りとピエロ」を読んで、主題について考える。		<ul style="list-style-type: none">・サーカスでは、厳しい練習を積んで演じていることに簡単に触れ、教材への導入とする。・教材についての感想を出し合い、児童と共に学習課題を考える。
	学習課題：ピエロはどんな思いでサムを許したのだろうか。		

7 板書計画

第 回

ブランコ乗りとピエロ

ピエロはどんな思いでサムを許したのだろうか。

ピエロ

- ・サムも一生懸命だったことに気が付いた。
- ・自分もサムと同じことを考えていた。
- ・自分もサムもサーカス団のために頑張っている。

広く受け入れる心

- ・相手の気持ちを考える。
- ・自分も同じようなことがなかったか振り返る。
- ・相手のよいところを見つける。

団員

- ・サムだけ目立とうと勝手なことをして腹が立つ。
- ・ピエロの時間がなくなっただけかわいそうだ。

サム

- ・ピエロの時間を使ってしまって自分も悪かった。
- ・ピエロと分かり合えた。自分も一緒にサーカスを盛り上げたい。

(電子黒板で提示する)

人を許すにはどんな考えが大切なのだろうか。

- ・相手の気持ちを考える。
- ・自分も同じようなことがなかったか振り返る。
- ・相手のよいところを見つける。
- ・自分と違うところを認める。
- ・広い心で接する。